

## パンデミックコントロールへ：自然免疫誘導経鼻ワクチン

### 自己紹介



**Global Infectious Disease Control** を目指して研究を展開しています。

#### Keywords

- ・ 感染免疫学研究
- ・ ワクチン開発
- ・ 国際連携
- ・ 次世代研究者育成

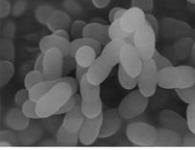
### どんな新しい技術ですか？

#### 1. LC-Plasma経鼻接種による自然免疫誘導

- ・ キリンホールディングス社と共同で、健康食品として実績のある LC-Plasma（プラズマ乳酸菌）を医療用へ活用するものです。
- ・ 抗体等の獲得免疫を誘導する従来のワクチンと異なり、インターフェロン等の自然免疫の誘導による防御効果を目指します。

#### 2. 自然免疫による感染防御効果

- ・ 発症・重症化阻止だけでなく、**感染防御・流行阻止効果**が期待されます。
- ・ 変異株流行や新たな感染症アウトブレイク対応への有用性も期待されます。



### どんな研究ですか？

本研究では、LC-Plasma経鼻接種のSARS-CoV-2及びインフルエンザウイルス感染防御効果を動物実験で検証します。

#### 1. 誘導免疫の解析

LC-Plasmaの経鼻接種によって誘導される免疫反応を解析します。

#### 2. 感染防御効果の解析

LC-Plasma経鼻接種後に、ウイルス感染実験を行って、防御効果を確認します。

#### 3. 作用機序の解析

規格設計のための作用機序を解析します。

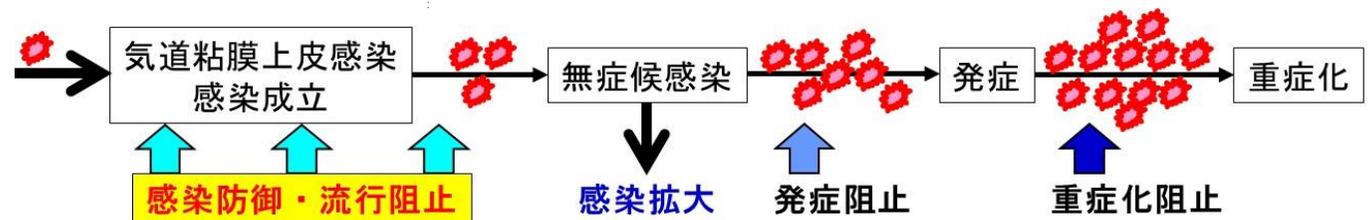
### どんなことが解決できますか？

#### 1. 研究開発の達成目標

- ・ 本研究では**動物実験での感染防御効果検証が目的**です。
- ・ 本研究成果に基づき、**実用化を見据えた臨床試験進展を目標**としています。

#### 2. 期待される成果

- ・ 迅速防御反応：SARS-CoV-2、インフルエンザ等の**呼吸器ウイルス感染症の感染拡大阻止効果**が期待されます。
- ・ 幅広い交差性：変異株や未知の呼吸器系ウイルスの**アウトブレイクに対する緊急対応**としての有用性も期待されます。



## 基本情報

対象病原体	SARS-CoV-2、インフルエンザウイルス等の 呼吸器系のウイルス
モダリティ	不活化乳酸菌
投与経路	経鼻投与
開発支援期間 (予定)	2026年3月
開発企業 (アカデミア) 連携の有無	キリンホールディングス株式会社